

【38】郵便代の値上げ

この10月1日から郵便代が値上げされ、例えば封書は84円から110円へ、葉書は63円から85円とそれぞれ約30%の大巾アップです。

メディアでは、特に反対論も無く単なるニュースだったのが意外でしたが、もはや手紙や葉書という時間のかかる古典的な通信手段は時代遅れで、スマートフォンやパソコンによるオンライン通信が主流になったということの表れでしょう。

郵便会社は値上げが社会にスナリと受け入れられたことに安堵するのではなく将来を心配した方が良いのかも知れません。

値上げの影響が案外大きいのは、団体や公益法人などで会員向けの雑誌や会報の郵送料が嵩むことですが、これを機会にオンライン化が進み、紙の資料から転換を図る法人も増えると思います。

小包など嵩ばる品物はもう既にそうなりつつありますが、民間の配送業者に頼むことが増えるでしょう。

個人レベルでは差し当たり、来年の年賀状が気がかりですが、100枚で8500円、200枚で1万7000円となると、仕事や職業上の理由で年賀状を多く出してきた人も、私を含め減らす方向でしょう。

いずれにせよ、今回の郵便料金の値上げは、単なる公共料金の値上げの一齣にとどまらず、紙という物質のやりとりによる通信からデジタル通信の時代へという文明論的な転換に拍車をかける結果になるものと思われます。